

葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち

《番外編》 文●群馬直美



枯れ葉の帆掛け船

今年は、葉画家人生にとって飛躍の年である。にもかかわらず、新年早々、のどと鼻の調子がおかしくなり、年明け10日目には腰痛で動けなくなってしまった。なんということだろう。4日後には、3年間掛けて描き上げた『伝統農法 下仁田ネギ』5作品の前で踊る「ネギに捧ぐ」ダンスパフォーマンスが控えているというのに。2019年、波乱の幕開けである。

3日間、朝昼晩の境なく眠り、体を充分休ませる。が、依然として治らない。そればかりか、自宅から出てどこかへ行くこと自体が不可能に思えてきた。自転車で20分ほどの展覧会場が、宇宙の果てのように遠く遠く感じられた。

問題は、「ネギに捧ぐ」ダンスパフォーマンスをどうするか。2つのパターンが頭に浮かんだ。

1. 会場に行かず、「急病のため中止」にしてもらい、このまま安静にしている。
2. なんとか会場に行き、「『伝統農法 下仁田ネギ』の絵のお話会」に変更する。

寝ながらあれこれ思いを巡らせているうちに、横になっていると腰が全く痛くないことに気づいた。そうだ！ 痛くないポイントを見つけながら、踊ればいいのかも。これは、斬新！——そう思うと、途端にワクワクしてきて、“悩みの種”が“楽しみの素”に変わった。

本番当日の様子は、ご覧のように見に来てくれた大勢の人たちからのパワーとご協力を得て、感動のひとつときとなった。ひょっとして、腰痛になっていなかったらこれほどまでの一体感を味わえなかったかもしれない。どんなことの中にも、希望の光は宿っているのだ。

さて、7月にロンドンで『伝統農法 下仁田ネギの一生』の絵を6点お披露目する。

枯れ葉の帆を掛け、いざ、出陣だ！



「ヤマトネイチャーサークル」は、株式会社ヤマトが行っている様々な自然環境への取り組みの総称です。

さらなる自然との共生を目指し、地域社会や自然環境への貢献を目的として「ヤマトネイチャーサークル」は幅広い情報発信をしています。

葉画家 群馬直美の

ヤマトビオトープ園の

葉っぱたち vol.37 〈番外編〉

クヌギ

枯れ葉の帆を掛け、いざ、出陣！

紙/テンペラ size:227mm×158mm

©Naomi Gumma 作品データ提供えてびあん



群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎生まれ。農大二高、東京造形大絵画科卒。大学在学中に新緑の美しさ、その生命力に癒され、葉っぱをテーマとする創作活動に入り葉画家となる。2015年6月ヤマトギャラリーホールにて個展開催、好評を博す。東京都立川市在住。

【<http://www.wood.jp/konoha/>】

「葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち」

バックナンバーは、Webヤマトネイチャーサークル

【<http://www.yamato-biotope.jp/>】にて、随時公開中です。是非ご覧ください。

葉画家・群馬直美の7月のロンドン展に向けたインタビュー記事、下記アドレスで公開中！

<https://www.tamatebakonet.jp/interview/detail/id=10885>